

あいさつ運動の好事例

玉野市立玉原小学校

(児童数 209名 教職員数 27名)

みんなであいさつ、心も瞳も輝く玉原っ子！

アピールポイント

本校の児童は、元気で、意欲的に様々な活動に取り組むことができる。また、登下校や学習など学校生活全般において地域ボランティアの方々に支援していただいているため、人との関わりにも積極的である。児童会が中心となって、あいさつ運動に取り組んでいるが、11月下旬には小中連携の取り組みとして中学生が本校に来て一緒にあいさつ運動を実施した。

実際の様子



取組の概要

■児童生徒の実態

地域とのふれあいが多いこともあり、本校児童は明るく元気で人なつこい。人との関わりを好むこともあり、あいさつや声かけ、会話によって心の安定と充実感を得ている児童も多い。

■活動内容

毎朝、校長先生や地域の方の校門でのあいさつと、毎月10日の週には児童会（計画委員会）が中心となって、靴箱前に並んであいさつ運動をしている。また、あいさつ週間中は「生活点検カード」で全児童が自分自身について振り返りをしている。小中連携の取り組みとして、中学生が来校して登校時のあいさつ運動を予定している。

■取組の参加メンバー

児童会（計画委員会）が中心となって活動をしている。地域見守り隊、教職員も参加。学区の中学生（生徒会）。

■成果・効果

校長先生や地域の方、先生達とのあいさつによって見守られているという安心感だけでなく、児童同士が朝から元気よくあいさつを交わすことによって、友達との心のふれあいに喜びを感じていることが笑顔からもわかる。あいさつを通して、玉原小の子どもたちは、安心して学校生活を送ることができている。